

中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き（チェックリスト）関連資料

## 設定解説資料 （Chatwork）

**ver1.0** (2023.07)

本書は、総務省の調査研究事業により作成したものです。

本書に関する問い合わせ先（個別のシステムおよび環境に関する御質問については、製品の開発元にお問い合わせください。）

総務省 サイバーセキュリティ統括官室

Email [telework-security@ml.soumu.go.jp](mailto:telework-security@ml.soumu.go.jp)

URL [https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/cybersecurity/telework/](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/telework/)

## 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>3</b>
<b>2</b>	<b>チェックリスト項目への対応一覧</b>	<b>4</b>
<b>3</b>	<b>管理者向け設定作業</b>	<b>6</b>
<b>3-1</b>	<b>チェックリスト 7-3 への対応</b>	<b>6</b>
3-1-1	不要なユーザーの削除	6
<b>3-2</b>	<b>チェックリスト 10-1 への対応</b>	<b>10</b>
3-2-1	特権の付与	10
<b>3-3</b>	<b>チェックリスト 10-2 への対応</b>	<b>11</b>
3-3-1	特権ユーザーのパスワード強度	11
<b>3-4</b>	<b>チェックリスト 10-3 への対応</b>	<b>11</b>
3-4-1	特権ユーザーの最小限の利用	11
<b>4</b>	<b>利用者向け作業</b>	<b>12</b>
<b>4-1</b>	<b>チェックリスト 3-1 への対応</b>	<b>12</b>
4-1-1	メンバーの制限	12
<b>4-2</b>	<b>チェックリスト 6-1 への対応</b>	<b>12</b>
4-2-1	HTTPS 通信の確認	12
4-2-3	サービス接続先の確認	12
<b>4-3</b>	<b>チェックリスト 9-4 への対応</b>	<b>12</b>
4-3-1	2段階認証の設定	12

## 1 はじめに

### (ア) 本書の目的

本書は、「中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き（チェックリスト）」の第 2 部に記載されているチェックリスト項目について、Chatwork を利用しての具体的な作業内容の解説をすることで、管理者が実施すべき設定作業や利用者が利用時に実施すべき作業の理解を助けることを目的としています。

### (イ) 前提条件

本製品のライセンス形態は無償ライセンス（フリープラン）と有償ライセンス（ビジネスプラン、エンタープライズプラン）が存在します。（2022 年 11 月 1 日現在）利用するライセンスにより使用可能な機能が異なります。**本資料では「ビジネスプラン」の利用を前提としております。**

### (ウ) 本書の活用方法

本書は、中小企業のセキュリティ管理担当者やシステム管理担当者（これらに準ずる役割を担っている方を含みます）を対象として、その方々がチェックリスト項目の具体的な対策を把握できるよう、第 2 章ではチェックリスト項目に紐づけて解説内容と解説ページを記載しています。本書では第 3 章にて管理者向けに、第 4 章では利用者向けに設定手順や注意事項を記載しています。

表 1. 本書の全体構成

章題	概要
1 はじめに	本書を活用するための、目的、本書の前提条件、活用方法、免責事項を説明しています。
2 チェックリスト項目と設定解説の対応表	本書で解説するチェックリスト項目と、その項目に対応する設定作業手順および注意事項の解説が記載されたページを記載しています。
3 管理者向け設定作業	対象のチェックリスト項目に対する管理者向けの設定手順や注意事項を解説しています。
4 利用者向け作業	対象のチェックリスト項目に対する利用者向けの設定手順や注意事項を解説しています。

### (エ) 免責事項

本資料は現状有姿でご利用者様に提供するものであり、明示であると黙示であるとを問わず、正確性、商品性、有用性、ご利用者様の特定の目的に対する適合性を含むその他の保証を一切行つものではありません。本資料に掲載されている情報は、2022 年 11 月 1 日時点の各製品の操作画面を基に作成しており、その後の製品仕様の更新、追加、変更、削除もしくは部分改廃により、画面表示等に差異が生じる可能性があります。本資料は、初期出荷状態の製品を単体動作させている環境を利用して設定手順を解説しています。本製品をご利用者様の業務環境で利用する際には、本資料に掲載している設定により業務環境システムに影響がないかをご利用者様の責任にて確認の上、実施するようにしてください。本資料に掲載されている製品仕様・設定方法について不明点がありましたら、製品提供元へお問い合わせください。

## 2 チェックリスト項目に対応する設定作業一覧

本書で解説しているチェックリスト項目、対応する設定作業解説および注意事項が記載されているページは下記のとおりです。

表 2. チェックリスト項目と管理者向け設定作業の紐づけ

チェックリスト項目	対応する設定作業	ページ
<b>7-3 インシデント対応・ログ管理</b> テレワーク端末からオフィスネットワークに接続する際のアクセスログを収集する。	・ <a href="#">不要なユーザーの削除</a>	P.6
<b>10-1 特権管理</b> テレワーク端末やテレワークで利用する各システムの管理者権限は、業務上必要な最小限の人に付与する。	・ <a href="#">特権の付与</a>	P.10
<b>10-2 特権管理</b> テレワーク端末やテレワークで利用する各システムの管理者権限のパスワードには、強力なパスワードポリシーを適用する。	・ <a href="#">特権ユーザーのパスワード</a>	P.11
<b>10-3 特権管理</b> テレワーク端末やテレワークで利用する各システムの管理者権限は、必要な作業時のみ利用する。	・ <a href="#">特権ユーザーの最小限の利用</a>	P.11

表 3. チェックリスト項目と利用者向け作業の紐づけ

チェックリスト項目	対応する設定作業	ページ
<b>3-1 アクセス制御・認可</b> 許可された人のみが重要情報を利用できるよう、システムによるアクセス制御やファイルに対するパスワード設定等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">メンバーの制限</a></li> </ul>	P.12
<b>6-1 通信暗号化</b> Web メール、チャット、オンライン会議、クラウドストレージ等のクラウドサービスを利用する場合（特に ID・パスワード等の入力を求められる場合）は、暗号化された HTTPS 通信であること、接続先の URL が正しいことを確認するよう周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">HTTPS 通信の確認</a></li> <li>・ <a href="#">サービス接続先の確認</a></li> </ul>	P.12
<b>9-4 アカウント・認証管理</b> テレワークで利用する各システムへのアクセスには、多要素認証を求めるよう設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">2 段階認証の設定</a></li> </ul>	P.12

## 3 管理者向け設定作業

ここでは「中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き（チェックリスト）」の第2部に記載されているチェックリスト項目のうち、本製品の管理者が実施すべき対策の設定手順や注意事項を記載します。

### 3-1 チェックリスト 7-3 への対応

本書で前提とするビジネスプランでは、チェックリスト 7-3 で求められる Chatwork へのアクセスログを収集することができません。Chatwork への不正なアクセスを事後的に調査することができないため、不正なアクセスのリスクを低減することがより重要です。

#### 3-1-1 不要なユーザーの削除

Chatwork を利用しているユーザーの一覧を定期的に確認し、**業務上の必要性のないユーザーが存在していない状態を維持することにより、Chatwork への不正なアクセスが発生するリスクを低減することができます。**

##### 【手順①】

右上の管理者メニューのプルダウンから「管理者設定」をクリックします。



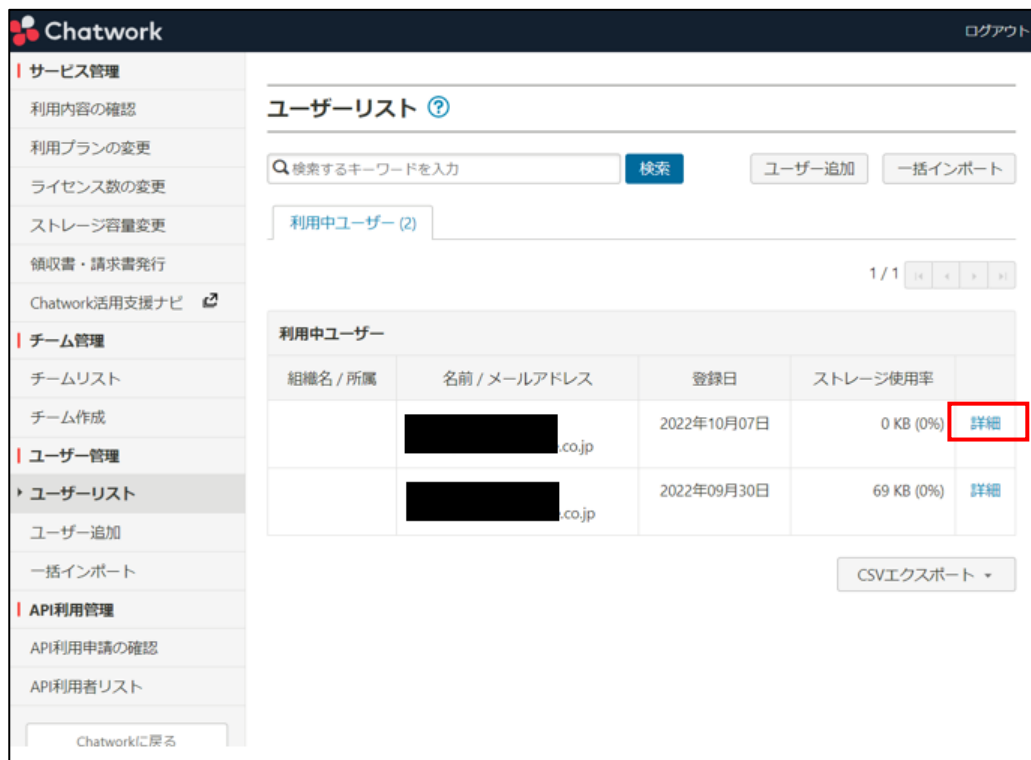
【手順②】

「ユーザー管理」の「ユーザーリスト」をクリックすると、現在利用している「利用中ユーザー」の一覧が表示されます。



【手順③】

退職や異動などにより Chatwork を利用する業務上の必要性がなくなった「ユーザー」を削除します。対象ユーザーの「詳細」をクリックします。



【手順④】

「ユーザー詳細」画面の最下部にある「ユーザーを削除する」をクリックします。

❗

- 停止中のユーザーについても、Chatwork の利用ユーザーの 1 ライセンス使用としてカウントされます。ご契約のライセンス数にご注意ください。
- ユーザーを停止状態にすると、該当ユーザーはログアウトされ、モバイルアプリ向けのプッシュ通知機能も停止されます。

ユーザーを削除する

【手順⑤】

「上記の注意事項に同意した上で、該当ユーザーを削除する」のチェックボックスにチェックを入れ「削除する」をクリックします。

### ユーザーの削除

ユーザーを削除すると以下のデータが削除され、今後ログインする事はできなくなります。  
削除されたデータは二度と復旧することはできませんが、本当に削除しますか？

削除するユーザー情報		
名前	メールアドレス	登録日
■■■■■	■■■■■	2022年10月07日

**ユーザーを削除する前に以下の点にご注意ください**

**削除されるデータ**

- 削除するユーザーのマイチャット
- 削除するユーザーしか参加者がいないチャット
- 削除するユーザーが「担当者」になっているすべてのタスク
- 削除するユーザーがアップロードしたすべてのファイル  
※削除されない場合があります

**変更されるデータ**

- ダイレクトチャットおよびグループチャットから、削除するユーザーが自動退席します。
- 削除されても過去のメッセージは残りますが、表示名は「発言者名（解約済）」に変更されます。  
※2016年3月9日以前に解約されているユーザーは、「解約済ユーザー」として表示されます。

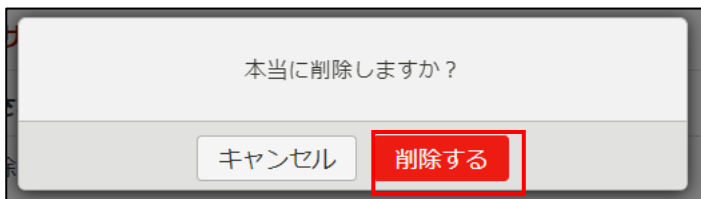
上記の注意事項に同意した上で、該当ユーザーを削除する

キャンセル 削除する



【手順⑥】

下記がポップアップされるので「削除する」をクリックします。



【手順⑦】

下記のように削除した対象ユーザーが表示されたら完了です。

### ユーザーの削除

ユーザーの削除が完了しました

削除したユーザー情報

名前	メールアドレス	登録日
■■■■■	■■■■■	2022年10月07日

管理者設定に戻る

## 3-2 チェックリスト 10-1 への対応

### 3-2-1 特権の付与

特権（管理者権限、ユーザー管理権限）を付与するユーザーを限定し、Chatwork の設定を変更可能なユーザーを必要最小限にします。**これにより、悪意のある第三者による意図しない設定変更のリスクを低減します。**

管理者権限は下記手順によりユーザーに付与することができます。

#### 【手順①】

右上の管理者メニューからプルダウンで「管理者設定」をクリックします



#### 【手順②】

「ユーザーリスト」をクリックし、変更対象ユーザーの「詳細」をクリックします。

The screenshot shows the 'ユーザーリスト' (User List) page in Chatwork. The left sidebar contains a navigation menu with categories: サービス管理 (Service Management), チーム管理 (Team Management), ユーザー管理 (User Management), and API利用管理 (API Usage Management). Under 'ユーザー管理', the 'ユーザーリスト' option is highlighted with a red box. The main content area shows a table of active users. The table has columns for '組織名 / 所属' (Organization / Department), '名前 / メールアドレス' (Name / Email Address), '登録日' (Registration Date), and 'ストレージ使用率' (Storage Usage Rate). The '詳細' (Details) link for the user registered on 2022年10月07日 is highlighted with a red box.

組織名 / 所属	名前 / メールアドレス	登録日	ストレージ使用率	
	[User Avatar]	2022年10月07日	0 KB (0%)	<a href="#">詳細</a>
	[User Avatar]	2022年09月30日	69 KB (0%)	<a href="#">詳細</a>

### 【手順③】

画面最下部の権限設定における「権限種類」から、対象の権限を選択し、「保存をする」をクリックします。

権限設定

権限種類

管理者権限  ユーザー管理権限  権限なし

このユーザーは管理者設定にアクセスすることはできません。

戻る 保存する

ユーザーを停止する ⓘ

#### 権限の種類

管理者権限・・・ライセンス管理も含め全ての設定が参照/変更可能 (注:1 契約に対して 1 名のみに設定が可能です)

ユーザー管理権限・・・ユーザー管理機能のみ参照/変更可能

権限なし・・・管理者設定を全て非表示。

## 3-3 チェックリスト 10-2 への対応

### 3-3-1 特権ユーザーのパスワード強度

パスワード強度が弱いパスワードを使用した場合、パスワードが解読され、不正アクセスを受けるおそれがあります。そのため、適切なパスワードを設定することが重要です。設定するパスワードは「[中小企業等向けテレワークセキュリティの手引き](#)」の P.96 に記載の「パスワード強度」を参考に設定することを推奨します。

## 3-4 チェックリスト 10-3 への対応

### 3-4-1 特権ユーザーの最小限の利用

作業ミスによるシステムやデータへの悪影響を防ぐために、**一般ユーザーのアカウントを作成し、普段はそのユーザーを利用、管理者権限またはユーザー管理権限を持つ特権ユーザーの利用は最小限に留める**ことを推奨します。

## 4 利用者向け作業

ここでは「中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き（チェックリスト）」の第2部に記載されているチェックリスト項目のうち、本製品の利用者が実施すべき対策の設定手順や注意事項を記載します。

### 4-1 チェックリスト 3-1 への対応

#### 4-1-1 メンバーの制限

作成するチーム毎やグループチャット毎にメンバーを指定できます。チーム毎やグループチャット毎に必要なユーザーのみを追加することで、情報共有をするメンバーを限定します。

### 4-2 チェックリスト 6-1 への対応

#### 4-2-1 HTTPS 通信の確認

ユーザーがアクセスする Chatwork の Web 版への通信は基本的に HTTPS で暗号化されています。

#### 4-2-3 サービス接続先の確認

Chatwork の URL として、第三者から共有されたものについては、**不正なアクセス先（Chatwork のドメインではないケース等）でないことを確認する**ようにします。

また、**使用するアカウントが、個人アカウントではなく、業務利用アカウントを使用していることを確認し、Chatwork にアクセスします。**

### 4-3 チェックリスト 9-4 への対応

#### 4-3-1 2段階認証の設定

2段階認証を有効化することにより、ログインするためにパスワードだけでなく SMS で受け取った一時的なコードなど追加の認証情報が求められるようになります。**2段階認証の設定によりパスワードが破られた場合でも、不正ログインを防ぐことができます。**

【手順①】

右上のユーザメニューから「アカウント設定」をクリックします。



【手順②】

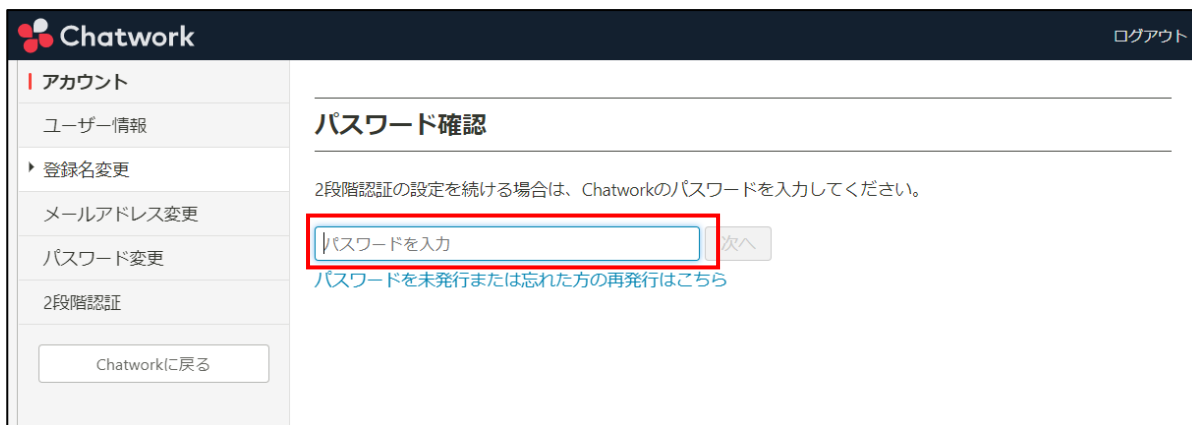
「ユーザー情報」の2段階認証の「変更」をクリックします。



【手順③】

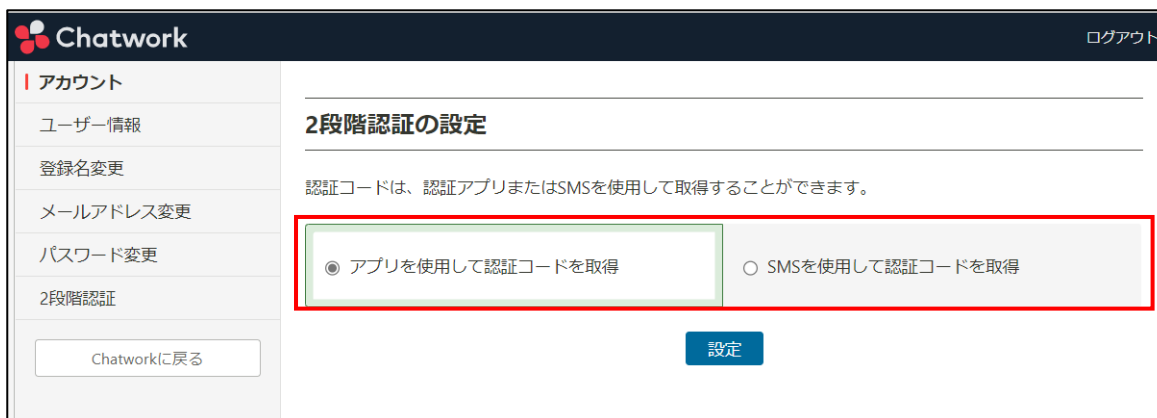
初期状態では設定が OFF となっています。トグルボタンをクリックし ON にした後、Chatwork のパスワードを入力します。





**【手順④】**

「2段階認証の設定」画面が表示され、「アプリ」または「SMS」で認証するかを選択する画面が表示されます。



**SMSを使用して認証コードを取得する場合**

**【手順①】**

「SMSを使用して認証コードを取得」にチェックボックスにチェックを入れ、「設定」をクリックします。



**【手順②】**

モバイル端末の電話番号を入力し、「次へ」をクリックします。

**【手順③】**

指定した番号に送られてくる認証コードを入力し、「認証」をクリックします。

**【手順④】**

バックアップコードが表示されるので印刷やデータで保管しておきます。

**※認証するモバイルが故障/紛失した際に入力するコードで一度しか表示されません。下記の情報は必ず保管してください。**

### バックアップコード

認証デバイスにアクセスできなくなった場合は、これらのバックアップコードの1つを使用してChatworkにログインできます。各コードは1度しか利用できません。これらのコードのコピーを安全な場所に保管してください。

<b>n k o 2 p 3 6 b</b>	<b>3 8 j z b l r 7</b>
<b>z n z z h a 8 g</b>	<b>d e u 3 c k b 0</b>

**【手順⑤】**

最下部の「2段階認証を有効にする」をクリックすると設定完了のページが表示されます。

The screenshot shows the Chatwork user settings interface. On the left is a navigation menu with options like 'アカウント', 'ユーザー情報', '登録名変更', 'メールアドレス変更', 'パスワード変更', and '2段階認証'. The main content area is titled 'バックアップコード' and contains the same backup codes as shown in the previous block. At the bottom of the main content area, there are three buttons: 'バックアップコードを印刷', 'バックアップコードをコピー', and '2段階認証を有効にする'. The '2段階認証を有効にする' button is highlighted with a red rectangle.

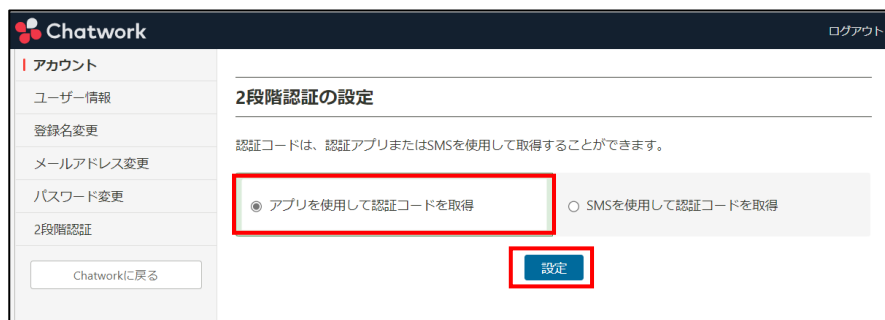


## アプリを使用して認証コードを取得

ここでは、2段階認証アプリとして Google Authenticator を使用し認証コードを取得します。

### 【手順①】

「アプリを使用して認証コードを取得」にチェックを入れ「設定」をクリックします。



### 【手順②】

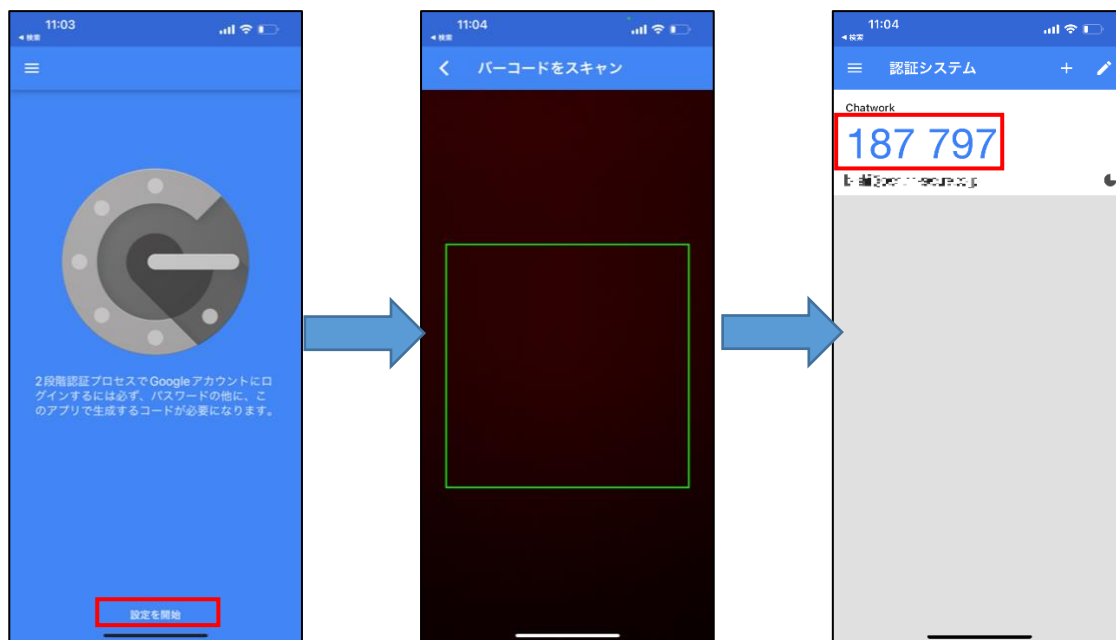
設定に必要な QR コードが表示されます。

モバイル端末に Google Authenticator インストール後 QR コードを読み取ります。



【参考】スマートフォン側の画面操作は以下の手順で実施します。

※以下では Google Authenticator を使用しています。



「設定を開始」をタップし、  
バーコードで読み取りを選択

【手順③】

表示された 6 桁の数字を入力し「認証」をクリックします。



バックアップコードが表示されるので印刷やデータで保管しておきます。

※認証するモバイルが故障/紛失した際に入力するコードで一度しか表示されません。下記の情報は必ず保管するようにしてください。

バックアップコード	
n k o 2 p 3 6 b	3 8 j z b l r 7
z n z z h a 8 g	d e u 3 c k b 0

【手順④】

最下部の「2段階認証を有効にする」をクリックすると設定完了のページが表示されます。

The screenshot shows the Chatwork account settings page. On the left is a navigation menu with options like 'アカウント', 'ユーザー情報', '登録名変更', 'メールアドレス変更', 'パスワード変更', and '2段階認証'. The main content area is titled 'バックアップコード' (Backup Codes). It contains a table of 10 backup codes arranged in two columns. Below the table are buttons for 'バックアップコードを印刷' (Print backup codes) and 'バックアップコードをコピー' (Copy backup codes). At the bottom, a blue button labeled '2段階認証を有効にする' (Enable two-step authentication) is highlighted with a red box.

バックアップコード	
n k o 2 p 3 6 b	3 8 j z b l r 7
z n z z h a 8 g	d e u 3 c k b 0
j h o n k t v 1	y w 4 b 1 c 7 u
c 1 v n 6 7 f b	m g a 0 h i l 3
1 g t 2 b z 8 2	5 j n j 5 z i b

バックアップコードを印刷      バックアップコードをコピー

**2段階認証を有効にする**